

宇都宮大学 地域デザイン科学部

コミュニティデザイン学科

2020 年度 卒業論文

太田市をよりよくするために

指導教官名 中村祐司

学籍番号 179117U

論文執筆者名 小島 隼平

目次

はじめにーなぜ太田市を取り上げるのかー	4
第1章 太田市の概要とその特徴ー新たな地方都市 太田ー	6
第1節 太田市の成り立ち	6
第2節 太田市の人口	7
第3節 太田市の自然環境	8
第4節 太田市の歴史と文化	9
第1項 金山城跡	9
第2項 世良田東照宮	9
第3項 縁切寺満徳寺	9
第4項 天神山古墳	10
第5項 SUBARU	10
第5節 新たな地方都市 太田市	11
第6節 太田市に対する新たな発見	11
第2章 太田市の魅力	13
第1節 豊富な祭りイベント	13
第2節 革新を続ける建築・インフラ	13
第3節 ユニークな事業	15
第4節 先進的な子育て支援	16
第5節 SUBARU の存在	18
第3章 太田市が抱える課題	21
第1節 連結に難のある公共交通機関	21
第2節 「北関東の歌舞伎町」南一番街の悪影響	22
第3節 東西の地域間の格差	24
第4節 外国人との言語と文化の違い	25

第4章 太田市をよりよくするために	27
第1節 市民への魅力発信	27
第2節 品格のあるまちづくりの推進	28
第3節 外国人住民との相互理解	29
第4節 「新たな地方都市モデル」への挑戦	31
終わりにー太田市を研究してー	34

はじめにーなぜ太田市を取り上げるのかー

2019年6月3年生の時にゼミ論文として「尾島町をよりよくするために」¹を書き上げた。尾島町とは、私の地元である群馬県南東部の田舎町のことだ。地元である尾島町が大好きであるという理由から、この地域の暮らしをよりよくしていくためには、どのようなことをして行く必要があるのか自分なりの考えをまとめた。

「尾島町をよりよくするために」では、元気な子どもとお年寄りの交流の場となっている尾島公園や、田畑や川に囲まれた豊かな自然、2日間で16万人の観光客が訪れる尾島ねぶたまつりなどの長所と見所を挙げた。一方で、少子化の影響を大きく受け子どもが少なくなっている事や、公共交通機関の弱さによる車社会化の構造などの短所も多く発見し、それらの課題に対する改善策を考えた。また、尾島を離れた3年で草原だった土地にアパートが建てられていたことや、尾島町唯一の娯楽施設であったカラオケチェーン店の「まねきねこ」の閉店が地域に与える影響について考察した。

前回のゼミ論文では、尾島をよりよくするために子どもとお年寄りが相互に良い影響を与えることができる環境を交流の基点となっている尾島公園の維持管理を続けていくことや、観光客だけでなく尾島町民も熱狂するねぶたまつりにより多くの団体の参加や屋台の出店を促し、祭りがさらに活気あるものに盛り上げて行くことが求められると考えた。しかし、尾島町という小さな範囲では、深刻化して行くことが考えられる少子高齢化への具体的な対策の提案や、高齢者の免許返納を進めるために重要となる公共交通機関の整備について具体的に考え、提案することができなかった。

そこで、本論文では尾島町よりも範囲を広くし、太田市について取り上げる。

尾島町が属する太田市全体を取り上げることで、前回のゼミ論文では考えることができなかった少子高齢化についての課題や公共交通機関の課題についてより大きな範囲で考えることで、より実現可能性のある具体的な提案をしていく。

具体的には、太田市の持つ市民にとって良い点・悪い点を挙げて行き、良いと思う点については良い点＝魅力と捉え、その魅力を市外だけでなく市内にも発信していく。他の地域の人たちにも太田市の持つ魅力を知ってもらうことは重要であると思うが、やはり実際に生活している太田市民の方々が自らの暮らしの地である太田市に魅力を感じていないことが考えられる。改めてその魅力を感じてもらうには、どのように発信していけば良いのかを考えて行く。

また、悪い点及び良くない点については改善の余地がある課題と捉え、どのようにすれ

¹ 宇都宮大学国際学部(中村祐司)研究室 HP | 行政学演習調査研究レポート | 2019年度 コミュニティデザイン演習 研究小論文 | 尾島町をよりよくするために
(<http://gyosei.mine.utsunomiya-u.ac.jp/2019enshu/190624kojimaj.pdf>) 2020年5月25日

ば良くなるのかを自分なりに考えていく。また、同じような課題を抱えている地域についても調査し、どのような活動をしていてどのような成果や結果が出ているのかということの研究する他に、現在太田市で暮らしている住民の方の意見を聞き、自分なりの改善案を作成し、政策事業提案に繋げていく。

今回のテーマのための研究・調査に関しては、前回と同様にインターネットや書籍による情報だけでなく、実際に現地に赴き、そこで感じ取ったことや考えたことをまとめて行く。宇都宮大学に入学するまでの18年間生活してきた記憶や思い出の中で特に印象に残っていることは、時間が経って曖昧になってしまったところを現地で確かめつつ、記述していく。

以下、第1章では、成り立ちや歴史など太田市の概要について説明していく。第2章では、太田市の持つ良い点及び魅力を考え、その魅力をどのようにして詞の内外に発信して行くかについて自分なりの考察を加える。第3章では、太田市が持っている悪い点及び加課題について考え、それらの課題に対してどのようにアプローチして行くかについて考察していく。第4章では、太田市の持つ良い点と悪い点についての考察を踏まえ、これから太田市をよりよくするために必要なことを考察しする。さらに、太田市が「新しい地方都市モデル」を担う可能性について論じていく。

第1章 太田市の概要とその特徴—新たな地方都市 太田—

ここでは、太田市の成り立ちや人口、歴史、文化などについて説明し、それぞれのポイントが持つ特徴について考察していく。また、概要を説明した上で、太田市が持つ「新たな地方都市」の可能性について論じて行く。

第1節 太田市の成り立ち

はじめに、太田市のあらましについて説明して行く。太田市ホームページには「太田市は、平成17年3月28日に太田市、尾島町、新田町、藪塚本町が合併し、人口21万人を超える新市として誕生しました。利根川と渡良瀬川の水の恵みと、金山八王子丘陵の豊かな緑を有し、古来より歴史と文化にはぐくまれてきました。東毛の中核都市として発展を遂げ、平成19年4月から特例市として更なる飛躍を目指し、新たな一步を踏み出しています。」²と記載されている。図1からわかるように、元となる太田町・尾島町・新田町・藪塚本町が何度も合併を繰り返し現太田市が成り立っている。

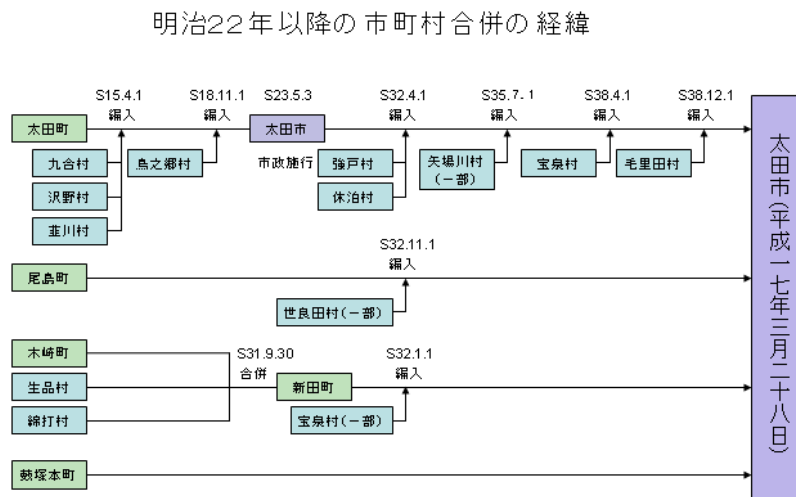


図1 太田市成立までの経緯

出典) City of Ota's Official Web Site 太田市 HP | 市の沿革

前回の小論文で取り上げた尾島町とは、合併前の尾島町と世良田町を中心とする尾島地区のことを指している。私は1998年(平成10年)生まれであるため、太田市は私が生まれた後にできた比較的新しい市であることがわかる。

幼かった頃は自分が暮らしている場所がどんな名前であるかということに関心がなかつ

² City of Ota's Official Web Site 太田市 HP | 太田市のあらまし はじめに
(<https://www.city.ota.gunma.jp/008profile/index.html>) 2020年4月14日

たが、小学校に通い始める時にはすでに小学校の名称が太田市立尾島小学校であったことから、自分が太田という市が建てた学校に通っていることを知った。詳しく調べてみると、合併前は尾島町立尾島小学校という名称であり、私が小学校にちょうど通い始めた2004年（平成16年）に太田市立尾島小学校に改名していたことがわかった³。

第2節 太田市の人口

人口に関しては、2015年（平成27年）の国勢調査によると太田市の人口は、219,807人が高崎市、前橋市に続いて県下第3位⁴となっている。太田市のあらましが書かれたのが2015年（平成27年）のため21万人となっているが、インターンシップで得た資料によると2019年（平成31年）の3月末の時点での人口は224,271人となっており、2015年よりも約1万人増加していることがわかる。

また、太田市の特徴の1つとして居住している外国人が他の地域よりも比較的多いことが挙げられる。2019年の資料によると、太田市内の全人口が224,271人、そのうちの約5%にあたる11,178人が外国人であるとされている。太田市内でよく見かける外国人の方はブラジル人の方が多い。私が通っていた小学校や中学校でも、1つの学年に少なくとも1人はブラジル人の生徒が在籍していた。

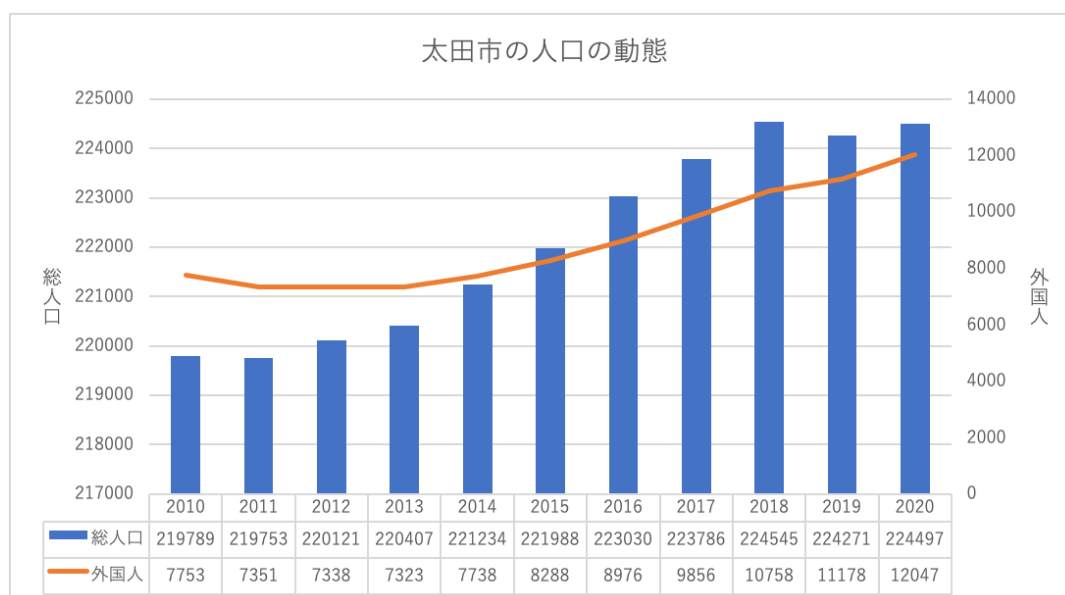


図2 太田市の人口の動態

参考) City of Ota's Official Web Site 太田市 HP | 太田市の人口

³ 太田市立尾島小学校 HP 群馬県太田市教育委員会 | 学校の沿革
(<http://www.ota.ed.jp/ojima/>) 2020年4月14日

⁴ City of Ota's Official Web Site 太田市 HP | 太田市のあらまし 人口
(<https://www.city.ota.gunma.jp/008profile/index.html>) 2020年8月2日

なぜ太田市にブラジル人が多いのかというのは、大泉町と隣接しているからという理由に他ならない。大泉町は群馬県内で最小の町であるが、県内だけでなく日本国内でも屈指の外国人が多く住む地域であり、町の全人口4万1891人のうち外国人は7940人（2020年9月30日現在）⁵と約5人に1人が外国人となっている。この「日本のブラジル」とも呼ばれる大泉町に隣接していることで、太田市にもブラジル人が移住して来ていると考える。

現在、大泉町にはブラジルなどの南米系の住民の他に、ネパール、ベトナム、カンボジアなどのアジア系の住民が多くなってきている⁶。太田市も同様にアジア系の住民が増加していくことが考えられるため、様々な国や地域の住民に柔軟に対応していくことが求められる。

第3節 太田市の自然環境

自然の面に関しては、日本国内最大の流域面積を持つ利根川⁷と利根川の支流の中で流域面積が最大の一級河川（国土保全上又は国民経済上特に重要な水系で政令で指定したものに係る河川で国土交通大臣が指定。）である渡良瀬川⁸という大きな河川が2つ流れている。昨年の夏にあった集中豪雨の際には、利根川の支流である石田川という河川が氾濫したことで堤防が決壊してしまい、周辺の住宅が浸水するなどの水害に見舞われたこともあった。私の親戚もその際に住居と自家用車が浸水してしまったということも聞いているため、大きな河川があるからと言って良い事ばかりあるわけではない。

さらに、集中豪雨による河川の氾濫以外にも自然環境面で注意しなければならないことがある。夏の異常な猛暑である。太田市では夏になると最高気温が35度を超えることが当たり前のことになっている。近隣の館林市では、夏の暑さを逆手にとって市のPRに繋げてきたが、太田市は館林市と比べると少し気温が低くPRの材料にしづらい状況にある。しかし、大切なのは暑さを知らせることではなく、暑さによる危険から市民を守ることである。近年、集中豪雨の増加や異常な猛暑など自然環境の大きな変化が見受けられるようになってきた。同じような被害を出さないようにするためにも、現在の自然環境にあった対策を講

⁵ 大泉町 HP | 町政情報 | 大泉町の人口・世帯（月別）

(<https://www.town.oizumi.gunma.jp/01soshiki/06jyumin/01jyumin/1468367193-30.html>) 2020年11月1日

⁶ 東洋経済 | 政治・経済 | 国内経済 | 群馬の小さな町が直面し続ける移民流入の現実 大泉町、日本屈指の外国人タウンが歩んだ30年

(<https://toyokeizai.net/articles/-/331370?page=2>) 2020年11月1日

⁷ 利根川上流河川事務所 国土交通省 関東地方整備局 | 利根川のあらまし

(<https://www.ktr.mlit.go.jp/tonejo/tonejo00182.html>) 2020年4月14日

⁸ 渡良瀬川河川事務所 国土交通省 関東地方整備局 | かわづくり 渡良瀬川の概要

(<https://www.ktr.mlit.go.jp/watarase/>) 2020年4月14日

じて行く必要がある。

第4節 太田市の歴史と文化

歴史と文化に関しては、太田市のあらましでは金山八王子丘陵が挙げられているが、それを含め他にも見所があると考えているため、いくつか紹介して行く。

第1項 金山城跡

まず1つ目に、金山城跡（かなやまじょうあと）が挙げられる。金山城跡は、戦国時代に造られた城で金山全体の自然地形を利用して造られた山城という種類の城である。天守閣がつくられるより古い時代の城であり、堀切や土塁・石垣など土木工事を中心とした遺構が残されているのが特徴である。山頂を中心として金山全山にその縄張りが及ぶ金山城跡は、1934年に中世の貴重な城郭として群馬県内で初めて国の史跡指定を受けた。また、2006年には公益財団法人日本城郭協会により、「日本100名城」に選定されている⁹。

第2項 世良田東照宮

2つ目に、世良田東照宮を挙げる。世良田東照宮は、長楽寺住職天海大僧正の発願により、日光から長楽寺境内に勧請された神社であり、本殿・唐門・拝殿と鉄燈籠は国指定の重要文化財の建造物となっている¹⁰。徳川氏の祖先と言われる新田義季（にったよしすえ）が上野国新田郡世良田荘徳川郷、現在の太田市尾島町に住んで徳川を称し、徳川義季と名乗ったことから徳川氏発祥の始まりと言われている¹¹。

第3項 縁切寺満徳寺

3つ目に、縁切寺満徳寺をあげる。『江戸時代、時宗の尼寺であった徳川満徳寺は、鎌倉の東慶寺と並んで縁切寺として著名でした。男女差別が厳しかった当時において、不法な夫（男性）から妻（女性）を救済するという縁切りの特権が認められた、いわゆるアジール（避難所）は世界に二つしか存在しませんでした。満徳寺と東慶寺の2つの縁切寺がそれです』

⁹ City of Ota's Official Web Site 太田市 HP | 教育委員会-文化財課 | 太田市の文化財 | 金山城跡

(<https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0170-009kyoiku-bunka/topics/nyumon.html>)

2020年4月14日

¹⁰ City of Ota's Official Web Site 太田市 HP | 教育委員会-文化財課 | 太田市の文化財 | 新田荘遺跡（東照宮境内）

(https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0170-009kyoiku-bunka/bunkazai/nittanosyoiseki_tosyogu.html)

2020年4月14日

¹¹ OTA おおらか。おおた。太田市観光物産協会 | おおたを知る | 徳川発祥の地 云われ

(<https://www.ota-kanko.jp/recommend/tokugawa/>) 2020年4月14日

¹²とあるように世界に 2 つしかない男女の縁を切る縁切寺である。縁切寺であると同時に、悪い縁を絶ち良い縁を結ぶといった新しい出会いをもたらす縁結びのご利益もあるとして、知る人ぞ知る観光地になっている。現在でも実際に縁切の願掛けができるようになっている。

第 4 項 天神山古墳

4 つ目に、天神山古墳を挙げる。天神山古墳は男体山古墳とも呼ばれ、東武伊勢崎線太田駅の東方約 1 km の平地に位置している。墳丘の長さは 210m で、東日本では最大、全国でも 30 位以内(近畿地方を除くと 3 位)の規模を誇る大前方後円墳である。その特徴として、『墳丘の周りには二重に堀が巡らされ、北東には天神山古墳に付属する小古墳(陪塚)も造られています。江戸時代には、棺(ひつぎ)として使われた大型の長持形石棺が発見されました。これまでに円筒埴輪のほか、家、楯、鶏や水鳥(白鳥)の形象埴輪も発見されています。埴輪は墳丘上のほか、中堤帯の一部にも立てられていた事もわかっています。古墳が造られた時期は埴輪の特長などから 5 世紀前半と推定されます。大型の長持形石棺が使われたことや埴輪の特徴から、古墳に埋葬された人は畿内大和政権と強いつながりを持っていた毛野(けぬ)国の大首長とされていますが、ほかの説もあり明らかではありません。』¹³とされている。この他にも市内に遺跡や古墳が多くあり、良い PR ポイントにできるのではないかと考えている。

第 5 項 SUBARU

5 つ目に、スバルの創業地である点を挙げる。1917 年 5 月、太田市に設立された民営の飛行機研究所を前身とし、日本最大規模の大手航空機メーカーであった中島飛行機が、スバルのルーツとなった。中島飛行機は陸軍の歴代主力戦闘機となった九七式戦闘機、一式戦闘機「隼」、二式戦闘機「鍾馗」、四式戦闘機「疾風」など、多数の著名な軍用機を送り出してきた航空機・エンジンメーカー、軍需から平和産業への転換、スクーターやバスなどの輸送用機器開発、企業分割などを経て、旧中島系の主要企業の共同により 1953 年に富士重工業が設立され、2017 年に現在の社名である SUBARU に変更された¹⁴。太田市内にスバル町という名前の町も存在するほど生活に密着している。

¹² 太田市立縁切寺満徳寺資料館 HP | 縁切寺満徳寺

(<http://www8.wind.ne.jp/mantokuji/>) 2020 年 4 月 19 日

¹³ City of Ota's Official Web Site 太田市 HP | 教育委員会-文化財課 | 太田市の文化財 | 天神山古墳

(<https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0170-009kyoiku-bunka/bunkazai/otabunka44.html>) 2020 年 4 月 19 日

¹⁴ 株式会社 SUBARU HP | COMPANY HISTORY

(https://www.subaru.co.jp/jinji/guide/company_history.html) 2020 年 4 月 19 日

その反面、市がスバルに過度に依存してしまっているため、現在の新型コロナウイルスの影響で工場が生産停止しており、その従業員だけでなく下請け企業や近隣の飲食店なども影響を受け、市内の経済が回らなくなってしまうほどの大打撃を受けている。市内に大きな生産工場があるのは良いことばかりではなく、場合によっては大きなリスクになることがわかった。スバルへの過度な依存への改善策も考えて行く必要がある。

第5節 新たな地方都市 太田市

太田市は2005年（平成17年）3月28日に太田市、尾島町、新田町、藪塚本町が合併して誕生したため、合併前の地域の歴史は古いものの、市としては比較的新しいまちである。

そして、ここまで見てきたようにブラジルなどの他国籍の住民が多い一方で、江戸時代の日本を代表する徳川氏発祥の地であったり、世界で2つの縁切り寺の満徳寺が存在したり、スバルの創業地であったりと実に様々な文化がひとつの市の中に入り混じっている。これほど多種多様な文化が混在している地域は珍しく、太田市の魅力のひとつであると言える。

2020年で太田市が誕生して15年になる。新しいまちには、その地域の歴史や伝統などが少なく、変化に柔軟に対応することができる適応能力が高い。そのため、市としても挑戦をしやすい環境が整っており、改革や新たな事業を進めることができる。

その一例として、1%まちづくり事業¹⁵が挙げられる。この事業は、市税の1%相当を財源に「地域が考え行動し汗を流す」行政と住民の協働事業を行っており、地域の人たちの知恵と労力により市税を有効活用し、地域を活性化させようとするもので、環境美化事業や花いっぱい事業、公園リメイク事業などを中心に、多くの事業が実施されている。行政に任せきりにするのではなく、地域住民が実際に活動して行う事業が対象となっているため、地域コミュニティ内で新たな活動が開始や、住民が地域の課題について知るきっかけに繋がるなど、地域活性化に繋がる要素を多く含んでいる。

このように、太田市には新しいまちの強みを活かした事業が展開されており、他の地域の先駆けとなる事業が期待されている。そこで、太田市の異文化の混在から生まれる新たな地域コミュニティの在り方を考えることで、すべての人が住みやすい新たな地方都市としての太田市の魅力を発信していきたいと考えている。

第6節 太田市に対する新たな発見

ここまで太田市の特徴に関して論じてきたが、調査を進めていく中で太田市が群馬県内で3番目に人口の多い地域であることを初めて知った。群馬県内でも中央に位置し、発展

¹⁵ City of Ota's Official Web Site 太田市 HP | 市民生活部-地域総務課 | 1%まちづくり事業
(<https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0060-001chiiki-soumu/matidukuri.html#a1>)
2020年5月25日

しているイメージのある前橋市と高崎市に次いで人口が多いということに驚いた。

また、太田市の歴史と文化についても改めて調査し、多様な文化が入り混じることで他の地域と比較すると複雑な地域文化が形成されていることがわかった。そのような複雑な地域の歴史・文化を受け止め、共存を可能にしている新しい地方都市の機能について自分なりの考察を加えることができた。

しかし、これまで生活してきた地域であるため、いつの間にか見慣れてしまい太田市の人口規模の大きさや、行政の取り組みに気がつかなかったように感じる。このような、知らぬ間に染み付いてしまっている自分の中の当たり前や先入観に左右されることなく調査を進めて行くことが重要であるということも再認識することができた。

この感覚を意識しつつ、太田市の持つ魅力と課題の2つの面について論じて行く。

第2章 太田市の魅力

ここからは太田市の持つ魅力について論じて行く。主に、力を入れて取り組んでいる政策・事業について紹介し、その効果について考察を加える。また、その魅力をどのようにして、市の内外に発信して行くかについても考えて行く。

第1節 豊富な祭りイベント

太田市の魅力として豊富な祭りやイベントが挙げられる。

1年を通じて季節ごとに数多くの祭りやイベントが開催されており、春には八瀬川の桜を楽しむ「八瀬川桜まつり」や、一面ピンクと白の芝桜やツツジを楽しむ「おおた芝桜まつり」など季節の花や自然を愛でる祭りが開催されている。

夏は祭りの季節ということもあり、駅前を中心に盛り上がる「おおた夏まつり」や、2日で約16万人が集まる「尾島ねぷた祭り」など神輿や山車が出動する日本文化特有の祭りが開催されている。7月から8月末までの2カ月間で5つの夏祭りが開催されており、熱気溢れる充実した夏を過ごすことができる。

秋には、太田市の秋の風物詩となっている「太田市やぶ塚かかし祭り」やラジコン飛行機やヘリコプターが秋の夜空を駆ける「RC航空ページェント」が開催される。また、スポーツの秋ということもあり、太田市独自の祭りである「太田スポレク祭」も開催される。この祭りはスポーツとレクリエーションを楽しむ祭りとなっており、地域対抗綱引き大会や上州太田スバルマラソンなど様々なスポーツイベントが開催されており、太田市の秋を彩るビッグイベントとなっている。

冬は、元日に開催される「全日本実業団対抗駅伝競走大会～ニューイヤー駅伝～」のコースの一部になっているため、元日から選手の応援のため沿道に駆けつけることが恒例になっている。市内には太田市役所の中継地点の他に観覧ポイントが数カ所設けられている。地元企業であるスバルも参加しているため、スバルの選手が通過する際には一際大きな歓声上がる。

太田市には1年を通して数多くの祭りやイベントが開催されており、市民の生活をより鮮やかに彩っている¹⁶。

第2節 革新を続ける建築・インフラ

近年老朽化していた公共施設や建築物の改修及び新設を積極的に進めている。

近年新設した施設として太田市美術館・図書館、太田市民会館、おおた・北茨城交流物産

¹⁶ City of Ota's Official Web Site 太田市 HP | 産業環境部-商業観光課 | 年間イベント
(<https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0080-004sankei-shogyo/event-cal.html>)

2020年12月14日

館を、大幅な改修を遂げた施設として太田市運動公園を例として挙げ、太田市の建築・インフラの革新を紹介していく。

太田市美術館・図書館は、太田市の新たな駅前文化複合施設として、図書館機能や美術館機能を活用した文化交流により、太田駅周辺の賑わいの創出を図り、文化をより豊かにすることを目的として2017年4月に開設された¹⁷。

これまで太田市には美術館がなかった。太田市美術館・図書館ができたことで、市外に足を運ばなくても芸術に触れることができるようになった。更にカフェを併設することで、気軽に立ち寄ることができ、誰もがくつろげる空間を演出している。駅に隣接するように建設されているため、学校帰りの学生や若者、仕事帰りの人たちも気軽に立ち寄りやすくなっている。吹き抜けや屋上緑化などの開放的なスペースが多くあるため、美術館ではあまり見かけない幼い子どもを連れた親子の姿が多く、より多くの人利用しやすい雰囲気づくりがなされている。

建設やデザインにもこだわり詰まっており、人の出入りが活発になるように複数のエントランスを持つ。街のような5つの箱とその周りに巻きつく道のようなスロープという構成になっており、箱ごとに異なる雰囲気をもった場所を用意することで、さまざまな人々が自分の場所を見出だせるようにしている。多くのこだわりの詰まったデザインが評価され、2017年に優れたデザインに送られるグッドデザイン賞¹⁸において、太田市美術館・図書館がグッドデザイン・ベスト100に選出¹⁹されている。市内外から注目を集め、太田市活性化の中核として更なる活用が期待される。

太田市民会館は、2017年4月に開設された市民会館兼文化施設である。プロに選ばれ、市民にも利用される太田市の芸術文化活動の核として、質の高い音響を備えたホールを有しており、最大収容可能人数は1501人となっている²⁰。ヴァイオリニストの高嶋ちさ子氏やシンガーソングライターのさだまさし氏など著名なアーティストがコンサートを行ったこともあり、利用申請をすることでプロと同じ環境で一般の市民もホールを利用することができ、市民にも使用しやすく開かれた運営をしている。開設されて3年という短い期間ではあるが、合唱コンクールや成人式なども開催されているため、学生や若者にとっても思い出深い施設となっている。

太田市民会館に隣接するBUSターミナルおた内に2020年9月24日に開設されたお

¹⁷ 太田市美術館・図書館 ART MUSEUM & LIBRARY, OTA | 施設概要
(<https://www.artmuseumlibraryota.jp/facilities/>) 2020年9月29日

¹⁸ グッドデザイン賞とは | GOOD DESIGN AWARD
(<https://www.g-mark.org/about/>) 2020年9月29日

¹⁹ Good Design Award | 受賞対象一覧 | 美術館・図書館 [太田市美術館・図書館]
(<https://www.g-mark.org/award/describe/45761>) 2020年9月29日

²⁰ 太田市民会館 HP | 施設案内 | ホール
(<https://www.otacivichall.net/facility/hall/>) 2020年9月29日

おた・北茨城交流物産館（以下、交流物産展）は、「太田市に海を持ってくる」をキャッチコピーに、交流都市である北茨城市で獲れた海産物をその日のうちに太田市に輸送し、提供・販売する施設である。

海なし県である群馬県で海産物を獲れた日の中に提供・販売することができるのは、交流物産展のみであり²¹、マグロの解体ショーなどのイベントも随時行われる。海産物の他にも、市内で収穫された野菜や県内で加工された食肉の販売も行っており、農産物・畜産物の地産地消を推進し、市民が食に関するこだわりや食の安心・安全に対する関心を高めることが期待できる。「買う・食べる・遊ぶ」をテーマに地域密着型の食文化の拠点としての役割が期待されている。

太田市運動公園は市民体育館、陸上競技場、野球場、サッカー・ラグビー場、武道館、弓道場など様々なスポーツ・競技用の全 11 施設が設けられている市内で最も広いスポーツ・レクリエーション施設である。その中で、9 施設は競技環境向上のために改修・拡張済み、改修中であり、市民体育館については現在改修中である。市民体育館の改修については、B.LEAGUE 所属のプロバスケットボールチーム「群馬クレインサンダーズ」²²の本拠地として誘致するために大幅な収容人数の増加と、災害時の市民の避難所としての活用することを前提にバリアフリー設備の充実を進めるなど、大規模な改修工事を 2020 年から着工している。

近年新設・改修が行われた施設は他にも多くあり、太田市は着実に変化している。『まちは動きを止めると崩れ落ちていくしかない』²³という太田市長の言葉の通り、止まること無く変化を続け常に地域を活性化させることで、マンネリ化を防ぎ市民の生活や経済を更新し続けている。

第3節 ユニークな事業

太田市独自の事業も魅力のひとつである。ここでは、太田市のユニークな事業・取り組みが地域に与える効果を考えていく。

太田市では、地域コミュニティをより活性化させるための事業として「1%まちづくり事業」²⁴を行っている。この事業は、市税の1%相当を財源に「地域が考え行動し汗を流す」

²¹ おおた・北茨城交流物産館 バスターミナル駅 | 太田市 - 大雄建設
(<http://daiyukensetsu.co.jp/ota-kitaibaraki-kouryubussankan/>) 2020年9月29日

²² 群馬クレインサンダーズ HP
(<https://g-crane-thunders.jp/>) 2020年9月26日

²³ OTA 広報おおた No.520 2020.2.1 | p.1 こんにちは市長です

²⁴ City of Ota's Official Web Site 太田市 HP | 市民生活部-地域総務課 | 1%まちづくり事業
(<https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0060-001chiiki-soumu/matidukuri.html#a1>)
2020年9月30日

をテーマにした事業を2006年から実施している。地域の人たちの知恵と労力により市税を有効活用し、地域を活性化させようとする事業を行政と住民が協力し、共に汗を流しながら協働事業を行っている。

「1%まちづくり事業」の対象になる事業は、住民からの意見や応募を市で審査し、実施する事業を採択することで決定されるが、主な判断基準として、地域内の人の交流が図られる事業や地域の特色を出すことができる事業、地域を活性化させる事業などが対象とされている。しかし、どのような事業であっても住民による労力の提供がなければならないというユニークな原則がある。この原則があることで、地域の困りごとを行政に任せきりにするのでは無く、行政と住民が力を合わせる協働を促進することができる。また、継続的に住民による維持管理が行われる事業や波及効果の高い事業であることも判断基準とされている。

実際に採択され、活動が行われた事業として、地域内の道路沿いなどに花を植える「花いっぱい事業」、より住民に親しまれ利用される公園にしていくための「公園のリメイク事業」、地域の広場や道路などの除草作業を住民参加で行う「広場・道路除草事業」、地主と一緒に野菜作りや米作りをしながら農業体験をする「野菜・米作り体験事業」、住民自身の手により、集会施設のバリアフリー化を行う「地域住民による集会所バリアフリー化事業」、近くの森・林の下草刈りや植栽などを行い地域に親しまれる里山づくりをする「里山再生事業」、地域のパトロールや、子どもたちの登下校支援を行う「地域防犯活動事業」、地域のゴミ置場の整備をする「ゴミステーション整備事業」、地域の集会所を利用し、高齢者等が自由に集い交流を図れる居場所を作る「高齢者等の居場所づくり事業」などが行われており、2019年度は128件²⁵、これまでには約1200件以上の事業が採択され、実施されている。

事業の実施後は、年度末に成果発表会が行われ、実際の活動の様子や活動による効果の発表が行われ、活動のノウハウの共有を行っている。

行政と住民が協働で関わることから、事業が実施された地域では、地域内で新たな交流が始まるなど、多くの人が集まり共に活動したことによって、地域への関心が高まり新たな課題への取り組みが始まるなど様々な波及効果も出ている。地域コミュニティの維持・発展に繋がる太田市独自の事業として、事業の継続や拡大が期待される。

第4節 先進的な子育て支援

太田市では他の地域に先駆けて様々な子育て支援が行われている。主要な支援策としては、複数人の子どもを育てる世帯への支援が充実している。

²⁵ City of Ota's Official Web Site 太田市 HP | 市民生活部-地域総務課 | 1%まちづくり事業 | 実績報告一覧 | 令和元年度
(<https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0060-001chiiki-soumu/R1jisseki-itiran.html>)
2020年9月30日

子どもが保育園に通っている場合、準認可保育施設²⁶に第2子が同時就園すると、保育料の2分の1が助成される。さらに、3人目以降の子どもが保育園や私立幼稚園、認定こども園に通う場合は、保育料が全額免除される。小学校に上がってからは、2人以上の子どもがいる場合、学校給食の助成制度が適用され2人目は給食費が半額になり、3人目は全て免除になる。また、太田市内で第3子が誕生した場合、市から一律10万円の出産祝金を受け取ることができるなど、複数人の子どもを育てる世帯、特に3人以上の子どもを育てる世帯に対し手厚い支援がなされている。

複数人の子どもを授かるための不妊治療費の助成も行っている。年1回5万円までの一般不妊治療のほか、1回の治療に10万円まで、年に2回までの特定不妊治療の助成も受け取ることができる。どちらの治療も第2子以降の妊娠を希望する場合でも助成を受けることができる。さらに、妊娠中には妊婦の健康診査費の14回分の助成を受けられ、子どもが生まれてからは、0歳から中学3年生（中学校卒業）までの医療費の自己負担分の助成を受け取ることができる²⁷。

子どもの出産や育児を支援する事業だけでなく、同時に子育てをしながら働きやすい環境づくりも進めている。

太田市独自の施策として、こどもプラッツという児童の放課活動事業を実施している。この事業は、就労者世帯等の子育て支援として、保護者が就労等により昼間家庭にいない小学生に対し、小学校の余裕教室等を利用して、子どもたちの安全・安心な活動場所の確保を図ることを目的として2014年から実施されている。利用者は月額3500円の利用料金を支払うことで、こどもプラッツの利用が可能になる。活動内容は主に自主学習や遊びなど、子どもたちが放課後の時間を楽しく過ごすことができるようになっている。運営スタッフは、地域の住民から募集され、有償ボランティアとして活動しており、子どもたちと触れ合いたい若者から高齢者まで様々な人が活躍している²⁸。

²⁶ 準認可保育施設…認可外保育施設における入所児童の処遇改善及び質の高いサービスの充実を図り、もって児童福祉の向上に寄与するため、所定の要件を満たし、市から認定を受けた認可外保育施設（国からの認可はされていない）のことである。

（<https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0170-006kyoiku-kodomo/hoikuen/index.html>） 2020年10月8日

²⁷ City of Ota's Official Web Site 太田市 HP | 福祉こども部-こども課 | 第3子以降子育て支援事業

（<https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0170-006kyoiku-kodomo/shiensaku.html>） 2020年10月8日

²⁸ City of Ota's Official Web Site 太田市 HP | 福祉こども部-児童施設課 | お知らせ | 令和2年度「太田市こどもプラッツ」入室児童の募集 プラッツ要項

（<https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0170-007kyoiku-sisetu/01news/files/pyoukou.pdf>） 2020年10月13日

子育て支援に合わせて、女性の活躍を促進する太田女性活躍推進事業²⁹も行われている。

この事業では、特に女性の起業支援に力を入れており、「おおたなでしこ未来塾」³⁰という女性のための起業セミナーが毎年開催されている。また、その他にも働き方を見直すセミナーや、出産後の復職を支援するセミナーなどが開催されており、市を挙げて女性が働きやすい環境づくりに取り組んでいる。

このように太田市では、様々な子育て支援や女性の就労支援に取り組んでいる。これらの事業の効果として、太田市の合計特殊出生率³¹は2018年時点で1.53と高い水準を記録している。この数値は、2018年の全国平均1.42と群馬県平均1.47を大きく上回っている³²。このことから、太田市の取り組んでいる積極的な子育て支援が身を結び結果となって現れていることがわかる。

少子高齢化がさらに加速していくことが予想されている中で、地域コミュニティや活力を維持していくためには、人口の維持・増加が大きな要素のひとつであることは明白だ。今後も子どもを産みやすく育てやすい環境作りを進めていくことで、これからの太田市の発展を支える基盤になると考えられる。地域の子育て支援とは、地域の将来への投資である。

第5節 SUBARU の存在

太田市の産業と経済を支えるスバルの存在感は凄まじく、スバルによって市が成り立っていると言っても過言ではない。

第1章で紹介したように太田市は自動車メーカーのスバルの創業地であるため、市内に多くの工場が存在している。本社は東京都に移転してしまったものの、本工場は太田市内にあり、日々太田市のものづくりを支えている。

本工場の所在地は太田市スバル町1番地1号³³である。このスバル町は、2000年に現太

²⁹ 太田女性活躍推進事業【群馬県太田市】

(http://www.gender.go.jp/policy/chihou_renkei/kofukin/h30/pdf/10-2.pdf) 2020年10月13日

³⁰ OTA-WOMEN～Act Ota Women's Project 2020 - Ameba Ownd | おおたなでしこ未来塾 (<https://otawomen.localinfo.jp/posts/8584186>) 2020年10月13日

³¹ 合計特殊出生率…15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したものであり、一人の女性はその年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

(<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/geppo/nengai11/sankou01.html>) 2020年10月13日

³² 群馬県統計情報提供システム | 人口動態統計 | 平成30年 群馬県人口動態統計概況 (確定数)

([https://toukei.pref.gunma.jp/jdt/2014-2023data/2018/2018gaikyou/H30_概況\(確定数\)R2.10.6訂正版.pdf](https://toukei.pref.gunma.jp/jdt/2014-2023data/2018/2018gaikyou/H30_概況(確定数)R2.10.6訂正版.pdf)) 2020年10月8日

³³ 株式会社 SUBARU HP | 企業情報 | 事業所・関係会社 | 群馬製作所 本工場 (<https://www.subaru.co.jp/outline/office.html>) 2020年10月13日

田市長である清水聖義市長が発案したことで成立した³⁴。太田市は、産業の要であるスバルの自動車産業の支援及びPR、市民と企業の間で一体感の醸成を目的とし、スバル側と検討を重ね、2001年に太田市東本町からスバル本工場の敷地をスバル町として分離した³⁵。さらに、市内で最も大きな病院である太田記念病院も開設者がSUBARU健康保険組合であるため、正式名称は「SUBARU健康保険組合太田記念病院」³⁶であり、こちらにもスバルの名が付いている。このように太田市内においてスバルの存在は非常に大きなものになっており、産業面だけでなく、地域のPRや医療の分野においても太田市を支えている。

経済面においてもスバルの及ぼす影響力は大きい。市内には本工場の他に矢島工場と太田北工場の合計3カ所のスバルの工場が存在している。現在太田北工場は利用されていないため従業員数は0人であるが、本工場と矢島工場の2カ所の工場で多くの雇用を生み出しており、2カ所の工場の従業員数の合計は7657人である³⁷。多くの従業員がいることで工場の外にも波及効果をもたらしている。工場の近くには多くの飲食店やコンビニエンスストアが出店しており、商業面においても市の経済を支えている。このように太田市は、スバルの城下町であることの恩恵を大きく受けている。そのため、市民の富裕度が非常に高くなっている。

東洋経済が全国の812都市を対象に、20の指標に基づいて評価した「住みよさランキング2020」³⁸では、太田市は全国総合評価で140位³⁹を獲得している。上位に食い込んだ理由としては、市民の富裕度が全国の都市と比較しても高い水準にあることが挙げられる。特筆すべき点として、このランキングの中で太田市は富裕度が47位と全国の都市の中でも非常に高い順位につけている。その要因として、財政力指数⁴⁰と人口当たりの法人市民税の2つの項目において偏差値が60を上回っており、企業城下町として市の財政の豊さが反映された結果であると考えられる。

このように太田市は、スバルの企業城下町としての恩恵を受け、住み良い地域として全国

³⁴ 太田市議会 HP | 旧太田市 平成12年度予算特別委員会 2020年10月13日

³⁵ 太田市議会 HP | 旧太田市 平成13年6月定例会 2020年10月13日

³⁶ SUBARU健康保険組合太田記念病院 HP | 病院案内 | 病院概要・沿革
(<https://www.ota-hosp.or.jp/about/summary/>) 2020年10月13日

³⁷ 株式会社SUBARU HP | 企業情報 | 事業所・関係会社
(<https://www.subaru.co.jp/outline/office.html>) 2020年10月19日

³⁸ 東洋経済 ONLINE | ライフ | 「住みよさランキング2020」全国総合トップ50
(<https://toyokeizai.net/articles/-/356816>) 2020年10月19日

³⁹ 東洋経済 ONLINE | ライフ | 「住みよさランキング2020」関東&北海道東北編
(<https://toyokeizai.net/articles/-/357346?page=2>) 2020年11月1日

⁴⁰ 財政力指数…地方公共団体の財政力を示す指数で、基準財政収入額を基準財政需要額で除して得た数値の過去3年間の平均値。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえる。

(https://www.soumu.go.jp/main_content/000264701.pdf) 2020年11月1日

でも高い水準にある。

しかし、2020年の新型コロナウイルスの突然の流行により、市のスバル依存による弊害が顕著に現れた。市内での感染症の流行により、工場内で集団感染が発生し、4月11日から5月11日までの1ヶ月間本工場での生産を停止した⁴¹。この停止は太田市内の経済に影響を与え、市内の経済全体がストップした。工場の従業員による飲食店やコンビニエンスストアの利用も大幅に減少し、商業成り立たなくなってしまう事業者が続出した。さらに、1ヶ月間の生産停止により、約4万台の出荷がなくなり、その分の利益も生まれず、太田市の2020年の法人税は大幅に減少した。

今回の新型コロナウイルスの流行により、市では工場での感染症対策の徹底を行った。再び集団感染が発生し、工場が停止することのないように、これからも市とスバルが協力して感染症対策に力を入れていく必要がある。

以上のように、太田市とスバルは切っても切り離せない関係にある。互いに手を取り合い、現在の深い関係性を築き上げてきた。行政だけではできないこと、企業だけではできないことを互いに協力し成し遂げていくところが、太田市ならではの住み良いまちづくりの形であると考え。これからも行政と企業で連携し、市民に優しいまちづくりを進めていくことが期待される。

⁴¹ 日本経済新聞 | SUBARU が国内工場停止、新型コロナで自動車全8社が影響
(<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO57498390R00C20A4EAF000/>) 2020年11月1日

第3章 太田市が抱える課題

ここからは、太田市が抱えている課題について論じて行く。数ある課題の中から、実際に生活していた中で感じた大きな課題に焦点を当てて、課題になっている原因とその解決・改善方法について考察し、提案して行く。

第1節 連結に難のある公共交通機関

最初に公共交通機関の弁の悪さを挙げる。

太田市内には、太田駅を中心として東武鉄道が通っており 9 つの駅が存在している。しかし、中心となる太田駅を含め、どの駅も JR の路線は走っていない。そのため JR の電車に乗るには、東武伊勢崎線の下りの終点である伊勢崎駅まで行くか、上りの埼玉県久喜駅まで行く必要がある。同県内である前橋市や高崎市に行くときにも JR に乗り換えなければならないため、不便さを感じることが多い。東武鉄道の特急列車である「りょうもう号」が通っているため、東京都や埼玉県などの県外へのアクセスは乗り換えをせずに行うことができるものの、県内での移動の際にアクセスの悪さを感じてしまうといったなんとも言えない残念さを感じる。

また、電車の運行本数が非常に少ない。東武線の電車は基本的に 2 両編成のため、朝の通勤・通学時間帯となるとサラリーマンや学生がその 2 両を埋め尽くし、電車はほぼ毎日満車状態になる。こういった環境で通勤通学しているため、電車内で気分が悪くなってしまう人もいるが、電車内にはトイレがないので次の駅に着くまで逃げ場がない。また、昼ごろになると乗車人数は少なくなるが、それゆえ運行本数はさらに少なくなり、1 時間以上待たされることも珍しくない。このような状況から、太田市での電車の使い勝手の悪さを感じている人が多いのではないかと推察される。

電車の他にも、太田市には市営バス「シティライナーおおた」が運行している。この「シティライナーおおた」は、新田線・尾島線・市内循環の 3 本の路線が運行している。現在はこの 3 本の路線になってしまっているが、2010 年まではその他にも、九合線・毛里田線・沢野線・葦川線・休泊線・宝泉線・強戸藪塚線・新田循環線・太田市街循環線の 9 本の路線が運行していた⁴²。この 9 本の路線が廃止されてしまったため、バスの運行ルートに偏りが見られ、太田駅周辺などの市の中心部はバス停や運行本数が多いのに対し、市の北部は全くバスが運行していない状況になっている。路線廃止になってしまったということは、利用する人数が少なかったことも考えられるが、廃止になってしまった地域の住人からすると移

⁴² City of Ota's Official Web Site 太田市 HP | 市民生活部-交通対策課 | シティライナーおおた、「おうかがい市バス・そよかぜ」時刻表 新田線・尾島線・市内循環
(<https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0050-005shimin-koutsu/cityliner/>) 2020 年 5 月 7 日

動手段を 1 つ奪われてしまったことになるため、廃止になってしまった理由を丁寧に住民に説明する必要がある。

電車での交通アクセスの不便さとバスの運行状況の偏りを改善するための施策として、太田市では「おうかがい市バス」という乗合バスの施策を打ち出している。この「おうかがい市バス」は、市内在住で歩行以外の移動手段や運転免許証を持たない①70 歳以上の人②70 歳未満で身体障害者手帳や精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の保有者③その他特別の理由により市長が認めた人のみが利用することができ、運行日時は月曜日から金曜日までの午前 7 時から午後 4 時までとなっている。運行している範囲は、市内で最も大きい太田記念病院を中心として基本的に太田市内のみであり、みどり市の東邦病院と足利市の足利赤十字病院には例外的に送迎している。また、利用する際には電話かネットで事前に予約する必要がある、市内 765 箇所を設置された停留所に行かなければならない⁴³。

高齢化が進む現代にとって時代に合ったシステムであると感じているが、制度の不完全さを感じるような課題が多く存在している。制度自体がやや難しく運賃や利用方法が分かりづらい印象を受ける。また、対象となる人物の条件が 70 歳以上で運転免許証を返納している人のように狭いため、利用したくても利用できない人が多くいるのではないか。市の日常生活の不自由なことに関する調査により、765 箇所の停留所に行くことすら大変である真の交通弱者が存在していることも明らかになった⁴⁴。市としても「おうかがい市バス」のシステムや料金を数回改訂しており朝令暮改の状態となっているため、主体である市自体が運営方法に戸惑っているように感じる。これからの市の方針としては、乗合タクシーのような「ドア to ドア」をコンセプトに置きつつ、交通手段を持たない高齢者に対しサービスを続けていくことを示している⁴⁵。

より多くの住民に便利な生活を提供するために、誰にでもわかりやすい運営方法や予約システムの見直し、利用を高齢者だけに限定するのではなく、妊産婦の方や体が不自由な方など日常生活の中で移動に難を感じている市民も利用することができるような制度の見直しが必要である。

第 2 節 「北関東の歌舞伎町」南一番街の悪影響

次に、駅前の風俗通り「南一番街」を挙げる。

太田駅の南口には南一番街という大きな歓楽街が存在する。この南一番街はかつて商店街であったが、近郊に進出した大型ショッピングセンターの影響を受け衰退し、現在は風俗

⁴³ City of Ota's Official Web Site 太田市 HP | 市民生活部-交通対策課 | おうかがい市バス (<https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0050-005shimin-koutsu/demando.html>)

2020 年 5 月 7 日

⁴⁴ OTA 広報おおた No.506 2019.9.1 | p.1 こんにちは市長です

⁴⁵ OTA 広報おおた No.513 2019.11.10 | p.6 市民議会だより

店や居酒屋などが密集する歓楽街となっており、その様子は「北関東の歌舞伎町」と揶揄されるほどである。一度はシャッター商店街となってしまった場所を立ち直すはずが、北関東一の大規模な風俗通りに生まれ変わらせてしまったことで、都市計画の失敗例として有名という残念な認知のされ方をしている。

自分が生活している地域に大規模な風俗通りがあることは、市民が安全な暮らしをして行く上で喜ばしいことではない。この付近では毎晩のようにナンパやキャッチなどが行われており、雰囲気の良い場所とは言えない。私も去年の冬にキャッチに声をかけられ付き纏われるなど、嫌な思いをした記憶もあり、夜間はできるだけ通りたくない道として認識している。

また、風俗店が密集していることもあり、警察沙汰になるような事件も度々起きている。2017年には、禁止地区営業による風営法違反と場所提供による売春防止法違反の疑いで、中国国籍の女性2人と、風営法違反の疑いで同所のタイ国籍の女6人が現行犯逮捕されている⁴⁶。この他にも、酒に酔った人が暴れるなどの傷害事件も多発しており、警察官やパトカーを頻繁に目にする現状となっている。

このような現状に対して太田市は、市のキャッチフレーズとして「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」⁴⁷を掲げている。また、市の観光協会は南一番街について、「最近では駅前再開発事業の進展により街並みも近代的に大きく変貌し賑わいを取り戻しつつあります。」⁴⁸としており、シャッター商店街からの変貌した結果だけを取り上げ、その変貌の中身までは取り上げておらず、治安の悪化や子どもたちに悪影響を与えるような発展の仕方について目を背けているよう印象を受ける。

ここまで考えてきたように、この南一番街の存在が、市の目指す品格のあるまちづくりの妨げになっていることは明白であり、市民の安全な暮らしや、市のイメージアップにも悪影響を与えていることが考えられる。

しかし、ここ最近では市長が南一番街の見直しを検討していることを発表し、改善を要望する市民の期待も高まっている。風俗店の他に居酒屋やその他の小規模小売店があるため、風俗店の数を減らしつつ、空いた土地に新規の飲食店や小売店の出店を支援していくことで、太田市の新たな事業「おたグルメ通り計画(仮)」として発信していくことができる。

⁴⁶ 産経ニュース | 群馬・太田駅南口の「南一番街」の中国人の風俗店長ら逮捕 タイ人女らに売春させる 組織的犯行か

(<https://www.sankei.com/affairs/news/170726/afr1707260015-n1.html>) 2020年5月9日

⁴⁷ City of Ota's Official Web Site 太田市 HP | 太田市のあらまし

(https://www.city.ota.gunma.jp/files/summary_of_ota_2020.pdf) 2020年5月9日

⁴⁸ OTA おおらか。おおた。太田市観光物産協会 | 会員情報 | 団体 | 太田南一番街商店街振興組合

(<http://www.ota-kanko.jp/member/list/minami1ban>) 2020年5月9日

医療施設に関しては規模の大きい地域医療支援病院と総合病院⁴⁹について比較すると、東側には市内で最も大きい地域医療支援病院の太田記念病院を含め総合病院が 5 つあるが、西側には総合病院は宏愛会第一病院の 1 つのみとなっている。市内 6 か所の総合病院のうち 5 か所が東側に集中しており、東西での医療機関の整備・配置に偏りがあることがわかる。

また、地域の商業・医療施設の数の差に比例するように街灯の数にも差があるように感じる。太田駅周辺及び国道 407 号沿いには多くの街灯が設置されており、夜間の道路を明るく照らしている。車通りも多いため自動車のライトもあり、夕方から夜にかけての自転車や徒歩での移動も比較的安全に行うことができる。しかし、それ以外の地域では街灯の数が少ないだけでなく車通りも少ないため、夜間の道路は非常に暗くなってしまい下校時の学生などの安全性が確保されておらず、事故や事件に繋がってしまう危険性が高くなっている。

近年では少子高齢化に伴う人口減少が深刻化しており、その中で地方都市を維持するため一か所に行政や医療、商業施設などを集める「コンパクトシティ」という考え方も提唱されており、ひとつの市の中で地域による格差が出てしまうことは、駅の規模や交通網の整備状況などの要因があるため、各施設の整備の面では致し方ないことではあると考える。しかし、街灯の本数などの市民の安全面に関しては早急に改善する必要がある。暗い場所にこそ街灯を設置する必要がある。市民の安全確保のためにも、地域住民の意見を取り入れつつ、特に暗い場所から徐々に街灯を設置していくべきである。

第 4 節 外国人との言語と文化の違い

太田市の全人口は 2020 年 6 月 30 日現在で 224,499 人、そのうち 12,102 人が外国人となっており、全人口に占める外国人の割合は約 5.4% と他の地域と比べると外国人の割合が多

⁴⁹ 総合病院…総合病院は、かつては施設機能に関する規定が医療法によって定められていたが、1997 年の同法の改正に伴ってその名称に関する規定はなくなった。しかし、すでに一般社会に広く浸透した名称であるため、地域医療の基幹となる病院を指して現在でも一般的に用いられる傾向がある。また、従来の「総合病院」のうち条件を満たす病院は、新たに医療法で規定された「地域医療支援病院」の指定を受け、総合病院から移行した。

・旧総合病院の承認要件…①病床数 100 以上の一般病院。②内科・外科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科の 5 つの診療科を含む。③一定の施設（化学・細胞・病理の検査施設、病理解剖室、研究室、講義室、図書室、そのほか省令で定められた施設）を有する。④都道府県知事の認可を受ける。

・地域医療支援病院として承認される条件…①紹介患者を中心とした医療の提供を行っていること。②救急医療を提供する能力があること。③地域の医師などが建物、設備などを利用できる体制が整っていること。④地域の医療従事者に対して研修を行っていること。⑤原則として 200 床以上、また、地域医療支援病院としてふさわしい施設を持っていること。 参照 総合病院 | 看護師の用語辞典 | 看護 roo![カンゴルー]

(<https://www.kango-roo.com/word/20734>) 2020 年 8 月 2 日

い。第1章・第2節で紹介したように市内にはブラジル人が多いが、その他にもボリビアやネパール、バングラデシュ、ベトナム、中国など多くの外国人が生活している。このことは太田市の大きな特徴のひとつであるが、同時に互いの言語と文化の違いによって様々な場所で問題が発生している。その中で特に問題となっているのが、教育と医療の現場だ。

市内の保育園では保護者の出身国が10か国を超えるところもあり、それぞれの言語や文化の違いについて苦労を強いられている。0歳児を担当する保育士は、『宗教上の理由やアレルギーなどで離乳食が一人一人違うため、食べられるものを確認することが大変。他言語でのやりとりの難しさを感じる。』『国によって暑い寒いの感覚が異なり、暑い日に厚着をしてくる子どもがいる。』などの国による言語と文化の違いに苦労していることがわかった。さらに、親子で日本語がわからない家族には、子どもの園での様子を親に伝えることができないことや、子どもが先生の言っていることがわからないのではないかと考えた心配の相談が寄せられるなど言語によるコミュニケーションが取れないことへの煩わしさが保育士の負担になっている。

医療現場においては、言語の違いから患者の訴える症状を詳しく理解することや、治療法を提案しても思うように伝わらないなど言語の壁が医師と患者の双方にとって大きな問題となっている。さらに、国によって治療に対する考え方が違うためその違いについて理解してもらうことに時間がかかってしまう。具体的な例として歯科医師が虫歯の治療をする場合、日本では歯の表面を削り修復材を詰めるのが一般的な治療法だが、外国人の中には虫歯になったら歯を抜くだけでいいと言う文化で育ってきたため、歯を削らずに神経まで虫歯が進行したら抜いてほしいと要望する人もいると言う。また、治療法だけでなく医療保険の適応や予約に関しても言語と文化の違いによる問題もあることが考えられる⁵⁰。

太田市では人口減少の中で多国籍化が進み、それに対応するようにグローバル化が期待される。コミュニケーションのツールとしての言語と根本的な考え方を作る文化の違いが日本人だけでなく外国人にとっても不安を生み出している。外国人へのサポートに多く目が向けられているが、外国人を迎え入れる日本人にも焦点を当てて言語と文化についての相互理解を深めるサポートをしていくことが必要である。

人口減少が叫ばれる中で、外国人の存在は非常に大切になってくることが予想される。共生はすぐにできるものでも簡単にできるものではない。少しでも早い段階から住民同士に共生の意識を持たせるための取り組みを進める必要がある。現在のような「同じまちにいるだけ」の意識ではなく、「太田市を共に作っている」という仲間の意識を持つことが本当の意味での共生であると考えられる。

⁵⁰ OTA 広報おた No.523 2020.3.1 | p.5 高校生新聞

第4章 太田市をよりよくするために

これまで、太田市の良い点及び良くない点について考察してきた。それらを踏まえた上で、本論文の最大のテーマである太田市を現在よりもさらに暮らしやすく魅力的にしていくなめにはどのようにしていくことが求められるのかを考えていく。

第1節 市民への魅力発信

大学に進学し宇都宮に引っ越してくる以前から感じていたことだが、太田市には何もないと感じている市民が多数存在している。斯く言う私も太田市で生活していた時は、「太田は何もないな。」と感じていた。

そのような考え方を持つ原因として、現在の太田市での生活がルーティン化してしまっていることが考えられる。段々と生活に慣れていくことで、同じような日常の中で新たな発見や驚きが日に日に無くなってしまふ。慣れきった生活の中では地域の持つ魅力を感じなくなり、悪いところばかりに目がいくようになっている。このような生活のルーティン化により、「太田には何もない」と感じてしまうと考える。

しかし、本論文のための調査を進めていく中で、これまで知らなかったような、または改めて気づかされた太田市の魅力を発見することができた。様々な設備が充実した運動公園、全国的に評価されている新たな美術館・図書館、子どもが生まれる前から利用できる積極的な子育て支援策、「ねふたまつり」など季節ごとの特色ある祭りの数々、焼きまんじゅうや焼きそばなどのローカルグルメ、太田市独自のクラフトビールの作成など新しい試みのように、魅力的な施策や建築物、グルメなどが数多く存在していることを実感した。

このような太田市の持つ深い魅力を発信していくためには、どのような活動をしていく必要があるか。

最も求められるのは、太田市による太田市民への魅力発信を強化であると考えられる。太田市の魅力を最も理解していなくてはならない太田市民に対し、どのような施策や魅力があり、どのように利用・活用することができるのかを発信していくことが求められる。例えば、近年建設された太田市美術館・図書館や、製造されたクラフトビールなどの存在を知らない、または、存在は知っているがどのようなものかよく知らない市民も多く存在している。そのような市民に対し、美術館・図書館で開催されるイベントの情報提供や、クラフトビールの試飲会や飲食店でのポスターの掲示などで周知を図ることで、太田市についての興味を持たせることができるのではないか。

さらに、市民ライターによる太田市ガイドブック「ota magazine」⁵¹の周知を進めていく

⁵¹ City of Ota's Official Web Site 太田市 HP | 企画部-広報課 | 太田市民が創る、太田市の

ことも魅力の発信に繋がることが期待できる。「ota magazine」は、太田市民が自らライターとして応募し、協力して市のガイドブックを作成するという試みであり、現在第2号作成のため市民ライターへのワークショップなどが行われている。第1号の中では、市民ライターならではの目線で、太田市内のディープな飲食店や見所が紹介されており、太田市について調査していた私も知らないような市の魅力を知ることができた。

「ota magazine」よりも市民の目に触れる機会の多い市の公式 SNS の利用方法を見直すことも求められる。現在太田市は Twitter、Instagram、Facebook の3つの SNS で公式アカウントを作成し情報を発信しているが、Instagram 以外の Twitter と Facebook では市内での災害情報や事故の情報などの投稿が大半を占め、市のイベントや魅力の発信となる投稿はあまり行われていない。現代は広報誌などの紙の媒体よりも、デジタルの情報の方がより多くの人が目にする機会があると考えられる。これからは、市政情報や市の取り組みを市の公式 SNS で取り上げ、発信していくことで、より多くの人に太田市の情報を知ってもらうきっかけを作ることができる。また、市内の新たな飲食店や建築物なども投稿することで、さりげなく市の魅力をアピールすることもできる。現代のニーズにあった SNS の活用をしていく必要があると考える。

太田市の魅力を太田市民に伝えるための方法を考案してきたが、最も大切なことは魅力を伝えるのであって、決して魅力の押し付けをすることではないということだ。

今回の調査で太田市には様々な魅力があることに改めて気付かされた。しかし、それを魅力と感じるかは人それぞれだ。ただ、「太田市はこのようにことに力を入れて取り組んでいる。」「太田市にはこんなに面白いものがある。」ということをも市民が少しでも感じられるようなまちづくりを進め、さりげなくアピールしていくことが必要である。市としては、魅力の押し付けではなく、市民の自主性に訴えかけ、市民が太田市の見方を変えるきっかけづくりをしていくことが大切だ。見方が変われば世界が変わるかもしれない。

第2節 品格のあるまちづくりの推進

太田市のキャッチフレーズは「人と自然にやさしく、品格のあるまち太田」である。しかし、第3章の第2節で挙げたように、太田市の中心には品格とはかけ離れた市民の悪評高い南一番街が存在している。この南一番街の状況を改善しない限り、太田市の品格の大きな向上は望むことはできない。

多くの風俗店が並び、「北関東の歌舞伎町」と揶揄されている現状から目を背けずに市民の生活に悪影響を与えている課題に取り組む必要がある。具体的には、風俗店による悪質なキャッチ・スカウトなどの迷惑行為、ぼったくりなどの違法行為を厳しく規制し取り締まっ

ガイドブック

(https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0020-006kikaku-kouhou/2019-0916_guidebook.html) 2020年11月21日

ていくことや、南一番街周辺のパトロールを強化し夜間でも学生の安全の確保に取り組んでいくことが求められる。

また先ほど提案した、風俗店の数を減らしつつ、小規模な飲食店を出店させていく「おおたグルメ通り計画（仮）」も、太田市の品格の向上に貢献することができるのではないだろうか。南一番街の駅から近いという立地と、元々は商店街であったため歩行者用道路が広いという特性を活かし、風俗店を撤退させつつ、風俗店と入れ替えるように小規模な飲食店を出店させていくことで、地元住民が立ち寄りやすく誇れるようなスポットにしていくことが狙いである。さらに、グルメスポットとしてアピールすることで、太田市の新たな観光スポットとしての見込みや、他の地域からの観光客の集客も見込むことができるなど、様々なメリットが考えられる。その他にも空きテナントが発生した場合には、現在イオンモール太田店などで定期的に開催されている、地元産物や周辺地域から集めた選りすぐりの商品を販売している「OTA CITY MARKET」⁵²の会場にすることもでき、太田駅周辺の更なる活性化が期待できる。

しかし、このような計画を進めていくためには、まずは南一番街の風俗店の撤退を進めていかなければならない。地域からの需要があるから風俗店は存在している。風俗業をすることで、生活を成り立たせている従業員もいることは容易に考えられる。風俗店の撤退に反対する市民は0人ではないだろう。そのような場合でも市民の生活を守ることが市の役割である。市の品格と多数の市民の安全のため風俗店を撤退させる決断をした場合には、その従業員にはこれからの生活をしていくための保証を約束しなければならない。

市の発展と少数の市民の生活を天秤に掛けたとき、どちらに傾くのかは考えるのは非常に難しいことだ。時期尚早に判断を下せば、良かれと思って行動したことが裏目に出てしまうことも考えられる。まずは、南一番街で商売を営む事業者を対象に市との話し合いの場を設け、お互いの考えを少しずつ理解していくことが求められる。

第3節 外国人住民との相互理解

太田市の人口の約5%は外国人であり、他の地域よりも比較的外国人が多い地域であることを取り上げた。少子高齢化が更に進んでいくことが予測されている現代の日本において、日本にやってくる外国人の存在は、新たな日本の担い手として期待されている。そのような状況において、太田市では外国人とのコミュニケーションの取り方をより一層考えていく必要がある。

外国人市民にとって、慣れない国と地域で、よくわからない言語と文化の中で生活していくことが非常に困難であることは容易く想像できる。太田市に住んでいる外国人も日本に長く住んでいる外国人ばかりではない。そのため、日本語がわからず、日本での暮らしのマ

⁵² OTA CITY MARKET | ABOUT

(<https://www.otacitymarket.com>) 2020年11月27日

ナーなども理解できておらず、外国人市民が関わる住民トラブルが度々発生している。

以前の太田市は、ブラジル人が多く暮らしていたが、現在ではブラジル人だけでなく様々な国籍の住民が生活している。太田市内での多国籍化が進んだことで、それぞれ同じ国籍の住民同士で集まり、独自のコミュニティを形成していることが多く、日本人からも他の国籍のコミュニティからも敬遠され、近寄り難い閉鎖的なコミュニティとなってしまうている。

そのような閉鎖的な多国籍外国人コミュニティの増加に対し、市と太田市民が協力して歩み寄る姿勢を見せていくことが必要であると考えます。

日本人にとっても外国人にとっても、どちらの立場でも相手の言葉がわからないことは直接的な不安に繋がるのが考えられる。そのような不安を取り除くために、まずは多言語で太田市での暮らしのマナーをまとめた冊子の配布を行うことが求められる。現在太田市では、市の公式ホームページにポルトガル語や中国語など、多言語での生活の案内を掲載している他に、国際交流協会のホームページにも多言語で各種生活に関わる情報の提供を行っている⁵³⁵⁴が、外国人にとってはそのページにたどり着くまでが困難であることも考えられる。そのため、移住してきた外国人に対し、太田市で暮らしていく上で知っておくべき生活のマナーや、近くのスーパーマーケットや病院などの生活に必要な施設の位置を多言語で紹介した冊子を配布することで、外国人の生活の不安を少しでも緩和していく工夫が必要であると考えます。

また、市の広報誌や公式 SNS も多言語での発信を行うなどの対応をしていくべきである。より多くの人が目にする情報を多言語化していくことで、日本人と外国人での情報格差をなくし、同じ情報を共有することで更に融和しやすい環境づくりを進めていくことができる。公式 SNS では、「1日1回の使えるポルトガル語レッスン（仮）」を投稿するなど、面白みを加えた、日常生活の中で使えるような少しためになる外国語の投稿をすることが重要である。多くの人々の目に触れる機会がある広報誌や公式 SNS は、市内の異文化の情報に対して、興味を持ってもらえるような発信をすることで、太田市の日本人と外国人の歩み寄りを進めるきっかけになることが期待できる。

外国人への言語学習だけを進めるのではなく、日本人にも外国語の学習を推進していくことも求められる。特に教師や雇用者など、人の上に立つ者を中心に推進していくべきである。人に教える者・人の上に立つ者として、生徒や部下の扱いに言語による格差を持たせる

⁵³ City of Ota's Official Web Site 太田市 HP | 総務部-市民税課 | 多言語版各種案内リンク集

(<https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0030-006soumu-shiminzei/2019-shiminzei-guide-qr.html>) 2020年12月4日

⁵⁴ City of Ota's Official Web Site 太田市 HP | 企画部-交流推進課 | 国際交流協会（日本語）

(<https://www.city.ota.gunma.jp/005gyosei/0020-007kikaku-kouryu/kokusaikouryu/>)
2020年12月4日

べきではないと考える。その他にも、医師のような様々な人と密接なコミュニケーションをとることが求められる人物も、外国語の習得に力を入れていく必要がある。市としては、そのような人物に対し、外国語セミナーを開催するなど、他言語の習得に向けたサポートをすることで、市の新たなコミュニティの活性化につなげていくことができる。

さらに、学校教育の場面での異文化理解を強化していくことが求められる。学校生活の中で普段から異文化への関わりを持たせることで、成長したときに違和感なく異文化を受け入れることができると考える。このような意識を幼い頃から植え付けることができれば、人種だけでなく様々な差別の減少や、差別によるイジメの減少にも期待できる。

日本人も外国人も「わからないこと」や「知らないこと」が大きな不安になっている。誰にとっても「わからない」「知らない」は非常に怖いものである。言語や文化など異なる点は多いが、まずは、相手と自分の「違い」に興味を持ち、お互いに分かり合う努力を進めていく必要がある。

これからの太田市にとって、外国人の存在は現在以上に更に大きなものになっていくことが考えられる。しかし、お互いに相手が来てくれることを待っているだけでは、距離は一向に縮まらない。同じ太田市で暮らす仲間であるという意識を持って、お互いに歩み寄っていく姿勢を見せることが重要である。そのような延長線上に、将来的な日本人と外国人が共に協力しあって生活していく太田市がある期待している。

第4節 「新たな地方都市モデル」への挑戦

太田市は平成17年(2005年)に1市3町が合併して、作られた比較的新しい市である。新しいまちには、その地域の歴史や伝統などが少なく、変化に柔軟に対応することができる適応能力が高く、市としても新しい挑戦をしやすい環境が整っており、改革や新たな事業を進めることができていることを述べた。

これまでの歴史や伝統に縛られにくいという太田市が持つ「地域の新鮮さ」というポテンシャルを十分に活かし、全国の地方都市が直面している、少子高齢化の深刻化による人口減少や地域コミュニティの維持管理などの問題の対応策を先進的に提案していく新しい地方都市モデルを目指すことができると考える。そのようなモデルを目指すことによって、更に品質の良い洗練された施策・事業を提供することができ、結果的に住民の暮らしやすさの大幅な向上が期待できる。

そこで、太田市が新しい地方都市モデルを目指していくために、取り組んでいくべき重要なことが2つある。

1つは、新しい地域だからこそできる積極的な取り組みを進め、その結果を評価し、更なる取り組みに繋げていくサイクルである。

例えば、行政と住民が共同で労力を提供し事業を進める1%まちづくり事業のように、他の地域ではあまり見かけないようなユニークな事業を続けるだけで終わりにしてはならない。その事業によって生まれた新たな地域コミュニティや住民と行政の繋がりから派生し

た効果や、継続的な取り組みを調査することで、1%まちづくり事業が地域にどのような効果をもたらす可能性を秘めているのかを検証し、次の事業へ活かすことができる。このような挑戦と反省の取り組みを繰り返し続けていくことで、将来的には行政と住民の共に満足度の高い事業を見つけ実施していくことができると考える。

また、外国人との共生についてもチェックが必要である。外国人向けの日本語習得セミナーばかり開催するなど、代わり映えない事業を永遠と続けていても効果は薄い。施策・事業に対する参加者の意見と実際の効果を測定し、評価を加え、事業を発展させていくべきである。時代は移り変わり、感染症の流行も追い風を吹かせ、対面でのやり取りは減退傾向にあり、情報の伝達や教育の仕方も紙媒体からデジタル媒体が主流になっている。これからは、スマートフォンなどの通信機器の翻訳機能を使った多国籍意見交換会の企画、市の SNS を使った生活情報発信の多言語化、オンライン日本語・外国語習得セミナーの開催など現代に合った手法を検討し、実践していくべきである。様々な国の文化が混在する太田市であるが、そのような状況にあるからこそ外国人との共生プログラムを積極的に打ち出し、他の地域のモデルとなるような取り組みを進めていく必要がある。

しかし、先ほど述べたように太田市が新鮮であると言っても、合併によって生まれた地域であるため、旧地区間で垣根があるように感じる。特に旧太田市とその他旧3町での違いは顕著であり、発展度合いの違いや重要施設の箇所数など大きく異なるため、市内の東西間の垣根を感じることもある。合併前から太田市に住んでいる人は旧地区の住民同士の距離感を感じることもあるという。同じ市に暮らす住民として、外国人との共生と同時に旧地区間の垣根を取り払うことも同時に行っていく必要があると考える。

以上のように、太田市の地域の新鮮さを活かした事業の挑戦と反省を繰り返す評価サイクルを繰り返し行い、多くの地方都市が抱える課題の解決・改善の糸口を見つけ、新しい地方都市モデルの検討・提案を積極的に行っていくべきである。

2つ目は、住民が「面白い」と思うような政策・事業を進めることである。行政から見る視点と、住民から見る視点は異なる。地域を暮らしやすくし、生活を支えていく役割を担うのは行政であるが、その地域の本質は常に住民である。施策・事業を行う際には、必ず住民の意見を取り入れる必要があると考える。行政からの視点だけでなく、市民の視点を取り入れて、これからも「面白い」政策・事業を継続して企画していくべきである。

地域による施策・事業は必ずしも万人に平等に働くものではない。中には全く恩恵を受けられない住民が存在する可能性もある。特に子育て支援策などは子どもを育てていない人にとっては、全く役に立たないものであるが、そのような不平等が「面白い」に繋がると考える。現太田市長清水聖義市長は、『不平等がたくさんあるということは、それだけ街の顔が多面的であるということ。全員に効果のある政策なんてあまり喜ばれない。』⁵⁵と語って

⁵⁵ OTA magazine Vol.1 太田市の解像度を上げる！！
P.31 INTERVIEW

いるように、市内の住民全員が恩恵を受けられるような政策などほとんどない。不平等であるから「面白い」のである。

太田市が新しい地方都市モデルを目指すことができると考えるのには理由がある。それは、太田市ならではのやり方・強みがあるからだ。

これまで、太田市が新しい地方都市モデルになるために重要なことを考察してきた。その中で、改善すべき多くの課題が浮き彫りになった。地方都市の人口減少、外国人との共生問題、同地域間格差問題、これらの課題は日本の多くの地方都市が同様に頭を抱えている大きな課題である。これらを同じ地方都市として課題を改善しつつ、新たな政策・事業を進めていく。課題の改善と新規事業の挑戦を同時に進めていく。これが太田市のやり方であり、強みである。このポジティブな強引さが、太田市を更に暮らしやすくしていくための原動力になると期待している。

太田市は成立して15年だ。いつまでも地域は新鮮なわけではない。青臭い失敗ばかりし続けることもできない。しかし、私は地域には賞味期限はないと考える。数々の挑戦の歴史は成功や失敗に関わらず、地域の経験として積み重ねられていく。これからも新たな挑戦を続け、新たな時代に向けた基盤を築いていくことが求められる。太田市が新しい地方都市モデルとなり、群馬県だけでなく、全国の地方都市をリードしていく存在を担うことを期待している。

終わりに－太田市を研究して－

本論文では、私の地元である群馬県太田市をよりよくするためにはどのような活動を行っていくべきであるかについて考察してきた。

第1章では、太田市の概要について説明し、外国人が多いという特徴的な人口形態、多様な文化が混在した異様な文化について、考察を加えた。太田市と関わりの深いSUBARUについても概要を紹介した。また、太田市が持つ新しい地方都市としての可能性について提示した。

第2章では、太田市の良い点と魅力について論じた。革新を続けるインフラ、先進的な子育て支援など太田市が力を入れて取り組んでいる施策・事業を魅力と捉え、それらの事業が市にもたらしている効果について考察した。太田市とスバルの関係についても触れ、相互に影響を与え合っている一長一短の関係を明示した。太田市には何もないと思っている市民に対し、太田市にも誇れるような魅力が存在することを証明した。

第3章では、太田市が抱える課題について論じた。公共交通機関の不便さや、「北関東の歌舞伎町」と揶揄されている南一番街の存在、市内の東西間の生活利便性の格差、外国人との言語と文化の違いによるコミュニケーション問題について、現状での問題点を論じ、問題に対する改善策について考察し、提案した。どの問題も簡単に解決できるものではなく、現状を正確に理解し抜本的な改善案の提示と、少しずつ状況を改善して行く根気が求められると結論づけた。

第4章では、これまでの太田市の良い点と悪い点について考察を加えた上で、具体的にどのような取り組みを行うことが必要であるかについて論じた。市民への魅力発信、品格のあるまちづくりの推進、外国人住民との共生、それぞれについて具体的な活動の提案や改善策を考案し、提示した。さらに、太田市が抱える問題は太田市だけの問題ではなく、全国の地方都市の問題であると考え、太田市の地域の新鮮さと太田市の政策の強みについて着目し、新しい地方都市モデルへの挑戦を提案した。

太田市には様々な魅力があることもわかったが、その魅力以上に市が抱える課題が深刻であることに気づいた。課題の改善のためには、目を背けたくなるような現実に正面から向き合わなければならない。特に、外国人との共生についての課題は、早急な対応が求められる。外国籍コミュニティが固定化し、手遅れになる前に新たな手を打つべきである。

しかし、私一人が危機感を持ったところで課題の解決にはならない。多くの市民が太田市について、より興味を持って日々生活して行く必要がある。

様々な課題に対し、太田市は常に課題の解決と新規の取り組みを並行して行ってきた。その姿勢は前代未聞のパンデミックの中でも変わらず、市民への生活支援を行いながらも、新市民体育館の建設を進めている。立ち止まらない姿勢こそが太田市の最大の魅力ではないだろうか。これからも止まることなく走り続け、変わり続ける太田市の変化と成長を楽しみにしている。

本論文では、私の地元である群馬県太田市についてスポットライトを当て、その魅力や課題についてそれぞれ考察し、市民の暮らしをよりよくするために必要なことについて論じてきた。しかし、住民の暮らしをより充実させるために日々頭を悩ませているのは、太田市だけではないはずだ。全国のほとんどの自治体が、太田市と同じような悩みを抱えているのではないか。

全国の自治体が、マスコットキャラクターやふるさと納税の返礼品などで、どうにかして注目を集めようと躍起になっている。あの手この手で、他の自治体よりも秀でた「何か」を欲しているように感じる。どの自治体も何かのランキングの No.1 を目指し、日々競争している。何かの生産額 No.1、何かの消費量 No.1 など、その自治体の宣伝文句になることは間違いない。本論文でも、太田市が住みやすさランキングで上位を獲得したことを取り上げたが、それらランキングに自治体が左右されてしまい、現実の住民の暮らしに目が行き届いていない現状があるのではないか。自治体の頑張りを外へ外へと発信して行くことに夢中になり、自治体内部の住民への発信が疎かになってしまっているのではないか。そのように内部への発信を怠ってしまったが故に、住民の地域への興味が薄れてしまっているのではないかと考える。住民の地域への愛着や興味が失われていってしまった原因は、自治体が外部への見え方ばかりに気を使った事による悪影響の連鎖であると感じる。

もちろん、自治体の活動を外部に発信して行くことは悪いことではない。地域の魅力を外部に暮らす住民に知ってもらうことができるからだ。しかし、その前にやるべきことがあると考える。それは、地域内部の住民の暮らしの充実だ。何度も言うが、地域の本質は住民である。この本質は決して揺らぐことはない。なぜなら、住民がいなければ地域は成り立つことはできないからだ。

現代の自治体は、外部からの見え方ばかりを気にしすぎているように感じる。外面ばかりよくしても、住民は満足しないのではないか。より地域の内部に目を向け、内部の状況や環境に対して、積極的にアプローチしていくことで、住民の地域への愛着や興味が再び掻き立てることができると思う。地域の高齢者へのサポートや、子育て世代へのサポートだけでなく、公共施設の衛生状況の改善、危険箇所への信号機の設置なども地域の住民にとっては、非常に興味のある活動であると思う。

住民の暮らしをよりよいものにするという地域の本質を見失ってはならない。自治体同士のランキングで本当の良し悪しが決められるほど、自治体の魅力というものは単純ではない。全ての自治体が、ランキングだけでは推し量ることができないような素晴らしい魅力を秘めている。全国の自治体が直面している課題に対し、1つ改善策を挙げるとするのであれば、自治体間での No.1 を目指すのではなく、その地域の住民にとっての「Only1」を目指すことで、よりよいまちづくりを進めて行くことができると思う。